

10

個の戦略で

生徒全員を オンライン学習に 引きこむ



こんなことがあったら…



これを実践



こうやって指導

1

グループに元気が無い

- ・新しく作業を始める際に、物理的に何かを変えてエネルギーレベルをリセットします。
- ・メインの作業中に休憩をとり、「[6つのブロック](#)」アクティビティを行います。

- ・ちょっとみんなで環境を変えてみましょう。パソコンを持って違う場所に移動するか、今いる場所で立ち上がるか、椅子を取り替えてください。少しだけ、何かを変えてみましょう!
- ・数分間違うことを行い、脳を休めましょう。

2

教師が5~6分以上話している

- ・説明したメインとなるアイデアを表す小さなモデルを生徒に組み立てさせ、生徒の理解度を確認します。
- ・生徒と話して質問を引き出したり、Web会議ツール(例:アンケート、コメント)を使用して、生徒を引き込みましょう。
- ・共有レッスン以外のレッスンコンテンツ(例:ビデオ、テキスト、グラフィックス、音声等)を共有します。または、生徒に音読してもらい、レッスン音声に幅を持たせます。

- ・いま私が共有したことで、一番覚えておかなければならない重要なことは何か、誰かまとめて言えますか?
- ・いま、どんな質問が浮かんでいますか?
- ・いま私が共有した情報をプロジェクトに適用するには、どんな方法がありますか?

3

一部の生徒の声が目立っている

- ・生徒全員がチャットで個別に回答する「Think-Write-Share」形式にしましょう。話して考えを共有してもらいたい場合は、生徒を指名しましょう。
- ・ディスカッション中に交代するパターンを確立しましょう(例:Web会議の挙手機能を利用)。
- ・各自の授業参加レベルを生徒自身に意識してもらい、次のレッスンに向けて目標を設定してもらいます。

- ・しばらく話していない人の意見も聞きたいですね。
- ・いま共有された内容に賛成する人、賛成しない人、一人ずつから意見を聞けますか?
- ・少し時間をとり、次のレッスンではもっと意見を共有する時間が欲しいか、それとも話を聞く時間が長い方がいいか考えてみてください。

こんなことがあったら…	 これを実践	 こうやって指導
<p>4</p> <p>生徒が話している際の映像や音声を確認しづらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> カメラに向かってモデルを早く動かさずに持つてもらい、ラグ補正を試みます。 ライブ映像の代わりに写真や録画映像を、また、音声の代わりに文章で共有してもらいましょう。 生徒にコードを送ってもらい、ビデオデモ用に教師の作品に適用しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> もう一度カメラにむかって持ち上げてもらえますか?そこで止まって…いい感じですか? みんなにもっとよく見せてもらえますか?短い動画を撮影して、共有フォルダーにアップロードしてチャットにリンクを送ってもらえますか? 私のモデルで試してみたいので、そのコードを私に送ってもらえますか?
<p>5</p> <p>小グループの分割セッションルームが静かになっている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現在の作業で上手くいったことを一つ、困っていることを一つずつ共有してもらいましょう。 生徒にディスカッションチェックリストを配り、話し合う内容を説明してから、分割セッションを行います。 グループ内で役割を与えましょう。その際、教師が分割セッションルームに参加した際にグループの進行状況を伝える「ステータスリポーター」を1人決めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 私がさっき参加してから、どうなりましたか? 今は何に取り組んでいますか? いま取り組んでいることで一番難しいことは何ですか?これまでに実際、取り組んだことは何ですか? アイデアを進行するために、グループ内で話し合っておかなければいけないことは何ですか? 今のグループにとって一番役に立ちそうなことは何ですか?
<p>6</p> <p>明らかに準備不足で、課題を達成できなそうな生徒がいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 他の生徒が作業を開始するタイミングでその生徒を分割ルームに招待しましょう。 オンラインレッスン前に、1対1、または複数名ごとに宿題の進行状況チェックや技術面のトラブルシューティング、事前指導等を行いましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> グループセッションに移る前に、宿題について私と話したいことがある人は手を挙げてください。 グループセッションに混ざったら、なるべく早く進められるようにこの部分から始めてください…。
<p>7</p> <p>小グループの分割セッション内で教師のサポートがなく困っていて、非生産的になっている生徒がいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 困った時に行うことのチェックリストを配布しておきましょう(例:クラスメイトに聞く、参考文書を読む)。 レッスン中にディスカッションスレッドを使用して、別のグループ間で質問できるようにする。 教師がグループに参加していない時に助けを求める方法を確立しておきましょう。 共同作業中にはクラスメイトの様子にも注意を向け、お互いから学び合うように促します。 	<ul style="list-style-type: none"> 素晴らしい質問ですね!実は、あちらのグループでも同じ問題が起きて、いい解決方法が見つかっています。そのグループに解決方法を共有してもらえるように、ディスカッションフォーラムに質問を投稿してもらえますか? 皆さん、ちょっと手を止めて、ビデオの中で〇〇さんがしていることを観て下さい。〇〇さん、今していることを皆に見せて、説明してもらえますか?



こんなことがあったら…	 これを実践	 こうやって指導
<p>8</p> <p>ピアフィードバックのバランスが悪い(過度に肯定的または批判的)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 具体的かつ詳細なポジティブフィードバックと、成長を促す建設的なフィードバックを含むフォーマットを作りましょう。 • 教師のサンプルソリューションを素材にしたフィードバックトレーニングセッションを行います。 • 別のフォーマットでのフィードバックを試してみましょう(例: 作品写真やコードのスクリーンショットにコメントする) 	<ul style="list-style-type: none"> • …といったことがみられるので、その戦略は成功だと思います。 • このアイデアに対しては、まだ対応策が出ていませんね…。 • …について、考えましたか? • 時間がなくて試せていないアイデアはありますか?
<p>9</p> <p>クラスメイトの意見を積極的に聞けない生徒がいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 組み立てから意見を聞く時間へ移る「儀式」を設定しましょう。 • 生徒が自身の作業とクラスメイトのアイデアと繋がりを持たせて欲しい内容について話します。 • 意見を聞く時間に行う作業を与えましょう(例: 感想を言う、自分のプロジェクトに反映できるアイデアを探す)。 	<ul style="list-style-type: none"> • 手を上げて、手を下ろし、頭に手を置いてください! • クラスメイト達のアイデアを聞きましたか?自分のアイデアに利用できる点を教えてください。 • 他のグループの意見を聞いている間に、そのグループの設計に関する質問を1つ書き留めてください。
<p>10</p> <p>作業が完了できず、共有できない生徒がいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> • レッスン後に最終成果物を紹介する動画を投稿できるフォーラムを用意し、生徒間でそれぞれの作品をレビュー、コメントしてもらいます。 • グループレッスン前後にフィードバックを得て共同作業を行える「皆で考える時間」をオプションとして用意します。 	<ul style="list-style-type: none"> • みんな、もっと時間が欲しかったと思うので、授業後に出来たものを共有する時間を設けたいと思います。 • 何か問題があったら一緒に考え解決しましょう。今日はこの後、相談タイムを設けていますよ。

